

事業シート(1)

1 事業番号	- 4	事業名	高齢者社会参加促進事業(おでかけ応援バス)
--------	-----	-----	-----------------------

位置づけ	2 所管	健康福祉	局	福祉推進	部	高齢福祉	課
	3 審査会での対象分野	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます			4	根拠法令	
	5 関連する事業	所属名		事業名			
		公共交通課		ふれあいバス運行事業			

事業概要	6 事業年度	開始 平成 16 年度 ~ 終了 年度 (終期を定めていない場合は開始年度のみ)					
	7 事業の背景(実施の経緯)	当事業は、高齢者の社会参加の促進を図るため、平成16年度から「おでかけ応援バス検証事業」を南海バス(株)と共同で利用日を月3日として試行実施し、利用実績やアンケート調査の結果を踏まえて、平成18年度からバス利用日を月6日程度に拡充した上で本格実施をしています。更に、平成19年度からは、事業を近鉄バス路線にも拡充しています。					
	8 事業の目的(何のために)	当事業は、高齢者が、毎月の五・十日(ごとび)にバス料金が安価になるという「お得感」から外出する機会が増えることで、社会参加の促進を図ることを目的とする。					
	9 対象者(誰・何を対象に)	満65歳以上の市民			10 対象地域	<input checked="" type="checkbox"/> 全市事業(全市的に実施) <input type="checkbox"/> ()区で実施	
	11 事業の実施方法(複数選択可能)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託		<input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金		<input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他()	
	直接実施以外の場合の支出先 市内の民間路線バス会社(南海バス株式会社及び近鉄バス株式会社)						
12 事業内容(手段・手法など)	<p>当事業は、高齢者が毎月の五・十日(ごとび)の日に市内路線バスの車中において「おでかけ応援バスカード」を提示することにより一乗車100円で利用できる事業です。</p> <p>「おでかけ応援バスカード」の発行は、市内の郵便局に業務委託し、最寄の郵便局で発行しています。</p> <p>当事業は、民間路線バス会社と共同事業として実施しているため、バスの利用者数に応じた事業負担金を負担しています。</p>						

コスト		事業費(千円)	主な内訳(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	
	13 20年度(決算)	101,015	事業負担金 99,790 郵便局への業務委託料 1,163	2,035	103,050	
	21年度(決算見込)	102,085	事業負担金 100,806 郵便局への業務委託料 1,156	2,035	104,120	
	22年度(予算)	117,414	事業負担金 113,948 郵便局への業務委託料 1,430	2,035	119,449	
14	22年度予算	人件費内訳		事業費内訳(千円)		
		従事職員数(人)	人件費(千円)	国・府支出金	市債	一般財源
	正規職員	0.15	1,275			117,414
非正規職員	0.4	760				

15	自由記述欄(1~15を補足する特記事項等)	
----	-----------------------	--

事業シート(2)

事業番号	- 4	事業名	高齢者社会参加促進事業(おでかけ応援バス)
------	-----	-----	-----------------------

16	活動指標 (実績)	指標名	単位		平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠	
		年間乗車数	回	目標	1,179,104	1,273,910	1,286,882	前年度実績に高齢者人口の増加率(1.05)を乗じた値	
				実績	1,213,248	1,225,602			
	達成率	103%	96%						
			指標名	単位		平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠
	バスカード発行枚数	枚	目標	86,514	99,791	111,487	前年度実績に高齢者人口の増加率(1.05)を乗じた値		
実績			95,039	106,178					
達成率			110%	106%					

17	効率指標	(単位あたりコスト(総事業費/活動指標))	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	/
		年間乗車数	円	85	85	93	
		バスカード発行枚数	円	1,084	981	1,071	

18	成果指標	指標名	単位		平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠	
		事業実施に伴う外出機会の増加(普段外出しないが100円で乗車できる日なので外出した)	人	目標	212,239	229,303	231,639	H17年度利用者アンケート結果	
				実績	218,385	220,608			
	達成率	103%	96%						
			指標名	単位		平成20年度	平成21年度	平成22年度	目標値の設定根拠
			目標						
		実績							
		達成率							
【その他】 数値以外の成果があればご記入ください。									

19	達成度評価	活動評価	(A) (80%以上) (B) (50%~80%) (C) (50%以下)	総合評価	(A)・B・C	コメント	事業開始から市民ニーズに応え年間乗車数及びバスカード発行枚数ともに年々増加し、高齢者の外出支援に寄与しているものと考えています
	効率性	(A) (向上) (B) (現状維持) (C) (低下)					
	成果評価(効果性)	(A) (80%以上) (B) (50%~80%) (C) (50%以下)					

20	比較参考値 (政令指定都市の状況、国等の基準との比較等)	【政令指定都市の状況】 本事業の方向性を検討するための他市の状況を記入ください。					
		札幌市	70歳以上 市営交通、民間バス 利用上限7万円(負担あり) 負担や対象者を見直し検討中	浜松市	70歳以上かつ所得200万円以下 社会参加交付券6,000円分(～H18年7,000円分、H20所得制限導入)		
		仙台市	70歳以上 市営交通、宮城交通 利用制限なし(負担あり)・年上限1万円を選択 事業継続のため見直し検討中	名古屋市	65歳以上 市営交通 H16年自己負担制度導入		
		さいたま市	無	京都市	高齢者 敬老乗車証交付(H17～負担あり) プリベード化等を検討中		
		千葉市	無(H20年に廃止)	大阪市	70歳以上 市営交通 敬老優待乗車証交付 事業継続のため見直しを議論中		
		横浜市	70歳以上 市営交通等 年間フリーパス証の交付 H20年に自己負担の値上げ 負担や対象者を見直し議論中	神戸市	70歳以上 バス、地下鉄、民間バス 敬老バスICカード交付(H20～負担あり)、低所得者(非課税世帯等)及び高頻度利用対策		
		川崎市	高齢者 市内バス運賃の半額補助又はフリーパス1000円/月を選択 (H16にフリーパス証を廃止)	岡山市	無		
		相模原市	無	広島市	70歳以上 本人所得159万5千円以下 バス、電車、タクシー等から利用チケット等を選択(6,000円上限) 見直し検討中		
		新潟市	無	北九州市	65歳以上 市営渡船 5割引き 75歳以上 市営バス 高額割引定期券(H17～負担あり)		
		静岡市	無(H19に3,000円分無料バス券を廃止)	福岡市	満70歳以上 介護保険料所得段階(1～6) 高齢者乗車券(上限1万2千円/年) 所得制限の強化検討予定		
		【国等の基準との比較】					
		【必要に応じて近隣市の状況をご記入ください】					

事業シート(3)

事業番号	- 4	事業名	高齢者社会参加促進事業(おでかけ応援バス)
------	-----	-----	-----------------------

21	事業の必要性 A	A	有	(理由)
		B	無	平成21年度末のバスカード発行枚数は10万枚を超え、約18万人の高齢者の半数以上がバスカードを所持されています。また、利用回数も年間122万回以上の実績があり、高齢者の社会参加の促進に効果があるため。

22	実施主体の妥当性 C	A	市が実施	(理由:「市が実施」とした場合は、同種事業における民間等の状況も明記)	
		B	民営化	民間と共同で事業を実施することにより、民間の資源を活用し効率的かつ効果的に運営できるため。	
C	その他(民間と共同)				
22	事業主体の妥当性	実施主体がAの場合	a	市で直接実施	(理由)
		b	全部民間委託		
		c	一部民間委託		
		d	市民協働		
		e	その他()		

23	事業の評価 (実施事業の方法、内容等について、事業の目的合致性、効果性、効率性、社会変化への適応性等から現状の課題及び評価を記入下さい)			
<p>民間(南海バス・近鉄バス)と共同で事業を実施することにより、民間資源を活用した効率的・効果的な事業運営が図られ、「おでかけバスカード」配布についても郵便局に業務委託することで利用者の利便性が図られています。市民の皆様にご利用いただくため、曜日に関わりなく毎月5・10日に事業実施しています。市民からはバス利用日数の拡充等の要望がありますが、高齢者の社会参加の促進のための事業として経費対効果等を勘案すると現行制度での運営が適当であると考えます。</p> <p>なお、課題としては、本市と隣接する地域にある市外のバス停からの利用の取扱いについて今後ともバス会社と協議を進める必要があります。</p>				
23	事業の方向性 B	A	拡充	(理由:「改善」とした場合は改善内容も記入下さい)
		B	現状どおり	
		C	改善	
		D	縮小	
		E	廃止・終了	
		F	その他()	
<p>最寄りのバス停留所が市外になる市民の利便を図るため、その市外のバス停からの利用ができるよう市内路線バス会社と協議を進めています。</p>				

24	縮小または影響止した場合	(影響の内容)			
		<input type="checkbox"/> 市民の生命や財産に影響する <input type="checkbox"/> 市民の日常生活(衣食住)に影響する <input checked="" type="checkbox"/> 市民の生命や財産、日常生活には影響しないが、他に影響する <input type="checkbox"/> 市民には直接影響しない <input type="checkbox"/> その他()			
		(影響の出方)			
<input checked="" type="checkbox"/> 影響がすぐさま出る <input type="checkbox"/> 影響が出る <input type="checkbox"/> 影響がすぐには出ない <input type="checkbox"/> その他()					

(特記事項等)

25	
----	--

堺市の北

お出かけ応援バス

(高齢者社会参加促進事業)

100円



堺市では、高齢者の外出支援と社会参加を促進するため、満65歳以上の方が、南海バス・近鉄バスを1乗車100円で利用できる事業を実施します。

- ①利用できる方 堺市民のうち 満65才以上の方
- ②利用できる日 毎月5・10・15・20・25・30日の各日
- ③利用方法 バス降車時(前乗りのバスでは乗車時)に★『お出かけ応援カード』を提示し、現金100円をお支払い下さい。
- ④利用できる路線 南海バス、南海ウイングバス金岡、近鉄バス の堺市内路線(裏面※参照)

■利用できる近鉄バス路線

路線名	系 統	以下のバス停区間内は、堺市外です。この区間で乗って、かつ降りられる場合はご利用いただけません。(裏面※参照)
松原線	河内松原駅前～さつき野東	河内松原駅前～岡町
	河内松原駅前～余部	河内松原駅前～丹南
丹比線	河内松原駅前～平尾	河内松原駅前～郡戸
北野田線	北野田駅前～さつき野東	<全区間で利用できます>
	北野田駅前～富田林駅前	平尾峠～富田林駅前
	河内松原駅前～富田林駅前	河内松原駅前～岡町、平尾峠～富田林駅前
北野田多治井線	北野田駅前～多治井循環	<全区間で利用できます>
富田林線	さつき野外北～喜志駅前	梅の里住宅西～喜志駅前

《利用される際のご注意》

- ※ ご本人のみのご利用に限ります。
- ※ 現金でのご利用に限ります。バスカードや回数券等ではご利用になれません。
- ※ ご利用できる区間は、「乗るところ」か「降りるところ」のうち、少なくともどちらか一方が、堺市内である場合です。
(市外で乗って、市外で降りる場合は対象外となります。)

★ 『**おでかけ応援カード**』は、満65歳以上の高齢者を対象に最寄りの郵便局で発行します。

(今お持ちのおでかけ応援カードはそのままご利用になれます。)

郵便局で備え付けの申請書に必要事項を記入して、満65歳以上であることを証明できるもの(保険証等)を提示すれば、その場で **無料** で受け取れます。(窓口での交付は、祝・休日を除く月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時まで)

※高速バス、空港リムジンバス、深夜急行バス、深夜バスなどを除きます。

※一部、南海バス(株)において、乗継券制度を行っている路線があります。
詳しくは南海バス(株)にお問い合わせください。

[最初のバスで降車の際におでかけ応援バスカードを提示のうえ、100円をお支払いいただき、乗継後のバスでは降車の際におでかけ応援バスカードを提示のうえ「乗継券」のみ運賃箱にお入れください。]

●なお、下記の施設・事業では、高齢者の各種割引がご利用頂けますので、ご活用下さい。
(お問い合わせは下記施設まで) (お問い合わせ先)

○堺市博物館	【245-6201】
○M・Cみはら(堺市立みはら歴史博物館)	【362-2736】
○堺市立文化館〔JR堺市駅前〕	【222-5533】
○堺・緑のミュージアム「ハーベストの丘」	【296-9911】
○堺市立のびやか健康館(但し、割引は70才以上)	【246-5051】
○大仙公園内日本庭園	【247-3670】
○プラネタリウム〔ソフィア堺〕	【270-8110】
○高齢者無料入浴事業(毎月15日)	【228-8347】
○金岡・大浜・泉ヶ丘プール(7月1日～8月31日)	【金岡253-0080】
	【大浜232-1647】
	【泉ヶ丘291-7577】

◆お問い合わせ電話番号

堺市 健康福祉局 福祉推進部 高齢福祉課	228-8347
堺市 建築都市局 都市計画部 交通計画課	228-7549
南海バス(株) 総務部 企画課	221-0926 (9:00~17:30 土日祝・年末年始を除く)
// 営業部 乗客課	221-0781 (9:00~17:30 土日祝・年末年始を除く)
近鉄バス(株) 松原営業所	332-1160 (8:30~18:00)
堺市 各区役所の地域福祉課	
堺	228-7477
中	270-8195
東	287-8112
西	275-1912
南	290-1812
北	258-6771
美原	363-9316